



## かしはらじんぐう 檜原神宮

奈良県の檜原神宮では、日本第一代天皇である神武天皇とその皇后がお祀りされています。かつて、天照大御神の五代目子孫に当たる神武天皇は、争いや困窮のない平和な国を築くために、日向国・高千穂（現在の九州地方）から東を目指しました。道中で数多の困難に見舞われながらも、二六八四年前に畠山の麓（さきやまのやせ）に「檜原宮」を建立し、日本国の大台を築かれたのです。

檜原神宮はまさに日本発祥の地であり、日本の原点ともいえる重要な場所です。

神武天皇は即位の際、理想のあり方として「八紘一宇」を掲げられました。これは、「世界中の人々が一つ屋根の下に住もう家族のように仲良く暮らす」ことを指し、この理想のもとに築かれた国が、この日本なのです。

奈良県の檜原神宮では、日本第一代天皇である神武天皇とその皇后がお祀りされています。かつて、天照大御神の五代目子孫に当たる神武天皇は、争いや困窮のない平和な国を築くために、日向国・高千穂（現在の九州地方）から東を目指しました。道中で数多の困難に見舞われながらも、二六八四年前に畠山の麓（さきやまのやせ）に「檜原宮」を建立し、日本国の大台を築かれたのです。

檜原神宮はまさに日本発祥の地であり、日本の原点ともいえる重要な場所です。

神武天皇は即位の際、理想のあり方として「八紘一宇」を掲げられました。これは、「世界中の人々が一つ屋根の下に住もう家族のように仲良く暮らす」ことを指し、この理想のもとに築かれた国が、この日本なのです。

金剛さまは、御皇室に対して深い崇敬の念を抱いていました。そのため、建国の祖神である神武天皇が目指された「和の心」を押し、建国の精神を胸に刻んで生活することを会員に呼びかけるために、太陽精神碑が建立された際には、一万体にも及ぶ神武天皇像を謹製し、全国会員や関係各所へ配布しました。

ひとたび世界に目を向ければ、紛争や迫害などで国を追われた難民や毎日を戦火におびえながら暮らす人々が大勢います。私たちが今、豊かな国で何不自由なく暮らせているのは、神武天皇をはじめとした御皇室のお蔭はもちろのこと、御皇室を崇敬し、その思いに応えるために手を取り合って未墾の大地を耕し、道を整備し、世界一治安の良い国とまで言われるほどの国性を築いてきた、他でもない

先人、先祖のお蔭です。さらに、「人の物を盗んではいけない」「お年寄りには席を譲る」といった、日本では当たり前の常識が世界各国から称賛されている現状を見れば、建国以来、脈々と受け継がれてきた日本人の国民性がいかに素晴らしいかが分かります。

檜原神宮では、まず日本という国を築き上げてくださった神武天皇をはじめ、国を守り続けてくれた先人、先祖に対して、感謝を捧げましょう。そして日本の大台を築き上げてくださった神武天皇をはじめ、国を守り続けてくれた先人、先祖に対して、感謝を捧げましょう。そして日本の大台を築き上げてくださった神武天皇をはじめ、国を守り続けてくれた先人、先祖に対して、感謝を捧げましょう。そして日本の大台を築き上げてくださった神武天皇をはじめ、国を守り続けてくれた先人、先祖に対して、感謝を捧げましょう。

◎生活の中で「和の心」を發揮するには具体的にどんなことをしたら良いか、皆で話し合ってみよう。